

平成 30 年 8 月 27 日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

1. 新規制基準適合性審査の状況について

これまでの主な審査項目の進捗状況は、下表のとおりです。

津波評価に関して、4月26日の審査会合では、「水深係数の設定の妥当性」について継続審議となっていました。6月29日の審査会合では、その対応状況について報告するよう指示されたため、同日、説明の準備ができしだい審査会合に諮りたい旨、報告しました。

現在、水深係数の設定の妥当性を示すために貯蔵建屋外壁に加わる波圧の詳細解析に着手するとともに、論拠となる文献等の調査を行っているところです。

審査区分	これまでに確認された項目	今後の確認項目
施設関係	<ul style="list-style-type: none"> ○設計基準関係（「基本的安全機能【臨界防止、遮蔽、閉じ込め、除熱】」「損傷の防止【火災、竜巻、火山】」等） ○耐震設計の基本方針 	<ul style="list-style-type: none"> ○津波評価方針のうち、津波防護方針等について（4月26日の審査で「水深係数の設定の妥当性」が継続審議となったため、現在、説明準備中）
地震等関係	<ul style="list-style-type: none"> ○火山影響評価 ○地質・地質構造 ○地震動、基準地震動、基準地震動の超過確率、基準地震動に基づく建屋の入力地震動、地盤の安定性評価 ○津波評価方針のうち、仮想的大規模津波の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、「取りまとめの審査会合」が行われる見込み

2. 事業開始時期について

2018年後半としていた事業開始時期については、極めて厳しい状況となっており、見直しを検討せざるを得ない状況になりつつある旨、6月28日に青森県及びむつ市に対し説明しています。

リサイクル燃料貯蔵（株）ホームページ：<http://www.rfSCO.co.jp/>

以上